

平成 31 (2019) 年 2 月 21 日

報道関係 各位

関西大学
京都府
八幡市
独立行政法人都市再生機構 西日本支社

学生等がUR団地をリノベーションし地域を再生

～京都府男山団地で2019年2月下旬より入居者募集～

関西大学・京都府・八幡市及びUR都市機構の四者は、「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して、「男山地域まちづくり連携協定書」を締結し、京都府八幡市男山地域の再生に取り組んでおります。

このたび、「次世代を育むまちづくり」を目指す地域再生施策として、関西大学の学生の設計により、築40年超のUR賃貸住宅をリノベーションし、平成31年2月から入居者の募集を行います。



リノベーション住戸と設計者の学生たち

(左:「自分で作っていく住まい」 右上:「土間から広がる多様な住まい」)

お問い合わせは下記へお願いします。

独立行政法人都市再生機構 西日本支社

京奈エリア経営部 企画課

(電話) 075-253-6105

総務部 総務課

(電話) 06-6969-9008

本件は、近畿建設記者クラブ、京都府政記者室、八幡市政記者会、大阪科学・大学記者クラブ等への同時配信にてご案内しております。

1 プロジェクト概要

関西大学団地再編プロジェクト（研究代表者：江川直樹教授）、八幡市、京都府及びUR都市機構は、平成25年10月25日の「男山地域まちづくり連携協定」を締結以降、地域の再生に協働して取り組んできました。そして地域コミュニティ活性化やセルフリノベーション特区（自分好みの住宅に自ら改修できる住宅を集めたエリア）の供給などの先導的な活動が2016年都市住宅学会業績賞を受賞するなど、社会的にも非常に高い評価を受けております。

関西大学の学生たちは、UR団地内に365日開設しているコミュニティ活動拠点、「だんだんテラス」に日々常駐し、団地にお住まいの方とのコミュニケーションを図りながら、住まいのニーズを集め、今回、「暮らしを楽しめる空間」を軸とした、新しい団地の暮らし方を提案する住戸を完成させました。

完成した住戸については、平成31年2月23日（土）から3月2日（土）まで一般公開を行い、3月3日（日）に申込受付を行います。

これからも「住みたい、住みつづきたい、男山」を目指して地域再生のための取り組みを四者で連携し、進めてまいります。

2 UR男山団地の概要

交通	京阪本線「樟葉」駅から京阪バス約8分 京阪本線「八幡市」駅から京阪バス約11分 「中央センター前」下車他	所在地	京都府八幡市男山竹園 他
構造	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 5・8・10・11・14階建（147棟）	管理戸数	4,594戸
完成年月	昭和47（1972）年3月～ 昭和51（1976）年7月	住戸型式	1R～3DK

3 募集概要について

平成30年度の募集概要については以下の通りです。

- （1）内覧期間：平成31年2月23日～平成31年3月2日 午前10時～午後4時
- （2）申込受付：平成31年3月3日 午前10時～午前10時30分
- （3）募集住戸：3戸
- （4）受付場所：男山団地募集案内所（男山団地B48棟2階）
- （5）入居可能日：3月下旬（予定）

4 リノベーション住戸について

募集住戸は、以下の通りです。

住戸 型式	名称および概要	専有面積	募集家賃	写真
1R	<p>「自分で作っていく住まい」</p> <p>広く明るいワンルームに改修し、暮らしを自由に作れる住まいを実現しました。</p>	51.31 m ²	51,700 円	
1R	<p>「空と暮らす住まい」</p> <p>緑道に面した 5 階から、空と緑の風景が楽しめるよう、南北の窓をつなぐ空間を拡張しました。</p>	46.68 m ²	46,600 円	
1LDK	<p>「土間から広がる多様な住まい」</p> <p>人を迎えたり食事をしたり、暮らしに広がりを生む土間空間が設けられた DIY の住まい。</p>	46.68 m ²	49,100 円	

5 参考情報

■ UR都市機構 男山団地特設ページ

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

男山団地の情報を日々更新しております。

■ だんだんテラスFacebookページ

<https://www.facebook.com/dandanterrace>

男山団地 外観



だんだんテラスと子供たち



だんだんテラス



だんだんラボ (DIYサポート)



以上